



「熱田白鳥の歴史館」 環境整備への取り組み

林野庁中部森林管理局名古屋事務所では、林業の歴史を学び、国産材の普及・利用促進を図ることも目的に、展示、学習施設を平成26年4月に開館。本年4月からは「熱田白鳥の歴史館」として施設の充実を図り、地域の皆さんに利用されています。

こういった中、来館者からは「森が繁って施設がわかりづらい」「駐車場入口に歴史館がわかる看板があるとよい」など貴重なご意見があり、検討する中で、フォレスト・サポーターズ活動に取り組む一般社団法人名古屋林業土木協会の協力が得られることになり、森の整備と看板の設置に取り組みました。

「郷土の森」の整備 (↑作業前の様子です)

まずは同協会の愛知支部が、7月8日(水)に高所作業車、クレーン付きトラック、ダンプカー2台、チェーンソーなどを搬入し森の整備を実施しました。

(↓ 作業終了後の様子です)



森の中も明るくなりました



↓作業開始前に作業の段取りや安全について話しました。

↓挨拶される安藤和央 愛知支部長



↓ 森の歴史を説明される千葉求
名古屋事務所副所長



森の中央には昔、光星稲荷社が祀
ってあったことから、作業開始に当
たり、ご神体をお返しした元宮のあ
る京都伏見のお酒と塩でお清めをさ
せていただきました。↓

↓ 作業開始前に全員で写真



この取り組みは一般社団法人名古屋林業土木協会
が昭和40年10月に法人登記以来本年度で50年と
いう節目の年であり、国有林における社会貢献活動
に毎年取り組んでいる同協会として、川下側の情報
発信は重要との考えの下、50周年の記念事業と位
置づけ、名古屋事務所と協働し取り組まれたもの
です。

作業は林の中にある古い木材の片付け、大きくな
ったクスノキの枝の剪定、枯れかけた立木の伐採な
ど多種多様。切った枝の片付けなど大変な作業でし
た。



高所作業車はビルの7階まで届く長さ27mア
ームを装備。チェーンソーの技術とともに、アーム
を移動させてその能力をいかに発揮しました。





切った枝は太いものも多く、一部は燃料に、一部は展示館の丸太椅子に、残った枝は森林教室の材料にも使われる予定です。



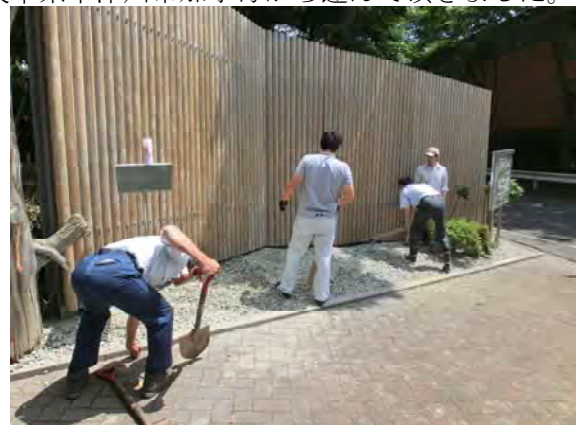
昔、杣人は「株祭り」とか「とぶさ立て」など、伐った木の株に梢を立てて山の神に感謝していたことにちなみ、伐ったクスノキの株に梢をさして、森に感謝するとともに樹霊の慰めをさせていただきました。



作業終了後再度全員で記念の写真を撮る。河野充次長（名古屋事務所長）からはねぎらいの言葉とともに、期待以上にさわやかな森になったと感謝の言葉がありました。

その後 10 日に丸太の壁を清掃し、15 日には碎石を敷き込むなど更に環境の整備に取り組みました。

↓ 碎石は看板の板を作った木曾ヒノキのふるさと、岐阜県中津川市加子母から運んで頂きました。





← ↑ 名古屋事務所と名古屋林業土木協会付知支部が協働し整備しました。

木製看板の製作・設置



看板は名古屋事務所が所有する板を使い、名古屋林業土木協会付知支部が板の表面磨き、文字の配置やガラスコーティングに協会の50周年事業の一環として取り組んで頂きました。



← 5月25日に文字のレイアウトを検討し、付知支部が原木を中津川市へ運搬しました。



← 6月19日、字型が彫り上がり、ガラスコーティングは小坂支部と連携し、看板を下呂市へ運搬しました。

こうして看板は7月14日に名古屋事務所へ。



7月22日。看板設置！



←いよいよ看板設置。そのできばえには一同「スゴイ！」
↓ 設置し終えての記念写真。でもこの後にさらに作業が。

↑ 午後から雨の予報に急ピッチで作業が進められました。

チラシ配布が除幕式の前なので、看板の一部しかお見せできませんが、整備された森と看板、それに丸太壁の加工により、一層地域の皆様に喜んで頂けると思います。



「熱田白鳥の歴史館」 看板除幕式が執り行われました



平成27年7月24日（金）
中部森林管理局名古屋事務所において「熱田白鳥の歴史館」を紹介する木製看板の除幕式が執り行われました。

←除幕を行って頂いた方々です。
向かって右側奥から
浅井慎次 名古屋市熱田区長
梅田豊 名古屋林業土木協会長
鶴飼裕樹 熱田生涯学習センター館長
谷口満慶 木彫・刻字出展者

↑ 向かって左側奥から
河野充 中部森林管理局次長（名古屋所長）
三尾秀和 名古屋林業土木協会付知支部長
川島大次 白鳥庭園事務所長
大島嘉月代 レストラン白鳥物語代表取締役

名古屋事務所職員手作りの幕が千葉求副所長のかげ声とともに見事除幕されました。→



姿を現した看板を前に、進行役の千葉副所長からは
「この看板は日本を代表する銘木 木曾ヒノキです。木柄をうまく利用して文字の構成をしました。末永く「熱田白鳥の歴史館」を訪れる方々に見ていただくため、ガラスコーティングを施しています」と紹介されました。

当日は報道関係を含め、約25名の方々が参加され、除幕終了後全員で記念撮影を行いました。

参加された方からは
「素晴らしい看板。地域としてもうれしい」
「森が整備されて白鳥庭園の森とともに一段と良くなった」
「ガラスコーティングというからキラキラした感じかなと思ったが、自然な色合いでとてもいい」といった感想が聞かれました。





← 役 長
進 行 副 所 長



← 除 幕 に 先 立
ち、河 野 次 長
さん が 挨拶 さ
れ、木 材 産 業
発 祥 の 地 紹 介
と、地 域 と 紹 介
携 手 した 取 組
み に 感 謝 の 言
葉 が あ り ま し
た。



→ 浅井区長さんからは、初めて施設を訪れたときの印象で、施設の存在がわかりづらかった。そのときのことが森の整備と看板につながったと伺った。歴史を知る中で将来に向け発展していくことが大切。大変良い取り組みをして頂いた。と挨拶されました。



当日は早朝から名古屋事務所の方々が準備に忙しかれていました。

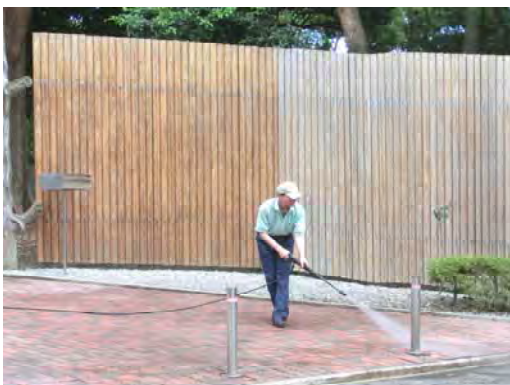


↑ 除幕式前には歴史館の案内も。写真左の方は旧名古屋分局の敷地と建物を購入頂いた株式会社ヒカリの平井英雄 代表取締役です。除幕後の全員写真で一番右側の方です。右の写真は現在の旧名古屋分局庁舎。手前1階が「レストラン白鳥物語」分局時代は経理室などがありました。中に入ると一部改装し大きなガラス窓から見える緑がさわやかなレストランで、毎日にぎわっています。

7月22日、看板設置の様子です。
事前に付知で準備をし、いざ取り付けに。



看板設置してヤレ。でも丸太壁の改修なども忙しかったです。



← 駐車場の入口のブロックの洗浄も

丸太は2のタックアップで仕上げます。



← 丸太壁全体にワックス塗りをしました。この後丸太壁の改修をしました。

最初は丸太壁は改修の予定がありませんでしたが、作業するうちに、もっと森と看板が一体感あるものにしたかったという意見から、丸太壁を山並みの形にするという提案で、余裕で付知へ帰る予定がめいっばいの作業になりました。

でも、やってみて「森と看板が一体となった」と。その違いは次のページでご覧下さい。

除幕式では多くの方が写真撮影されました。 →





環境整備前と環境整備後の景色をご覧ください。

除幕式が済んだ今、「熱田白鳥の歴史館」にはレストラン白鳥物語を利用した方がたくさん立ち寄っていかれるそうです。

レストランには中部森林管理局の取り組みパンフも沢山置かせて頂いているとか。

中京圏の大都市、名古屋市の一角でも地域と国有林がしっかり連携した取り組みが進んでいます。

写真は7月28日の朝です。朝日が木々の間をすりぬけて、木漏れ日の玄関ができていました。

8月24日にはこの森で子供たちが夏休みの木工教室に集まります。

伐った木も利用される予定です。



←昔は同じ斤舎敷だったお隣さんの(株)ヒカリさんとはこんな感じでお隣さんです。

とても気持ちの良い場所になりました。



前回、森の整備をした後、「とぶさたて」をして森に感謝しましたと書きました。とぶさたては樹木の復活・再生を祈る儀式でもあります。いま、森の中で伐った株からは、もう新しい芽が生まれてきています。→